

雪道ドライブ 立往生したらどうする？

近年、「記録的な大雪」「車が雪に埋もれ〇〇時間立往生」というニュースを多く見るようになりました。大阪ではこのような状況に遭遇することはめったにないと思いますが、ウィンタースポーツをされる方や自家用車で雪国へ旅行される方は遭遇する可能性もあるかと思います。

大雪で立往生したら…

①ハザードランプを点滅させる	追突事故引き起こさないよう、 ハザードランプを点滅 させましょう。停止表示板があれば設置しましょう。
②救援を呼ぶ	道路緊急ダイヤル（# 9910） もしくは JAF（# 8139） に救援を要請しましょう。 もしものために 携帯電話に登録しておく のも良いでしょう。
③「一酸化炭素中毒」に注意する	車のマフラーが雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けると、わずか15分ほどで車内に一酸化炭素が充満し、危険な状態になると言われています。 マフラー付近の雪は除雪 し、風下側のドアがいつでも開けられるように確認しておきましょう。
④「エコノミークラス症候群」に注意する	すぐに救援が来るとは限りません。 長時間同じ姿勢だと血流が悪くなります。 定期的に体を動かす ようにしましょう。
⑤水分補給は控えめに	近くにトイレがあるとは限りません。 トイレを我慢すると、膀胱炎になってしまいますよ。

雪の多い地域へお出掛けの際には、万一来るに備えて車内に防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを準備しておくといいでしょう。燃料は、半分以下にならないように小まめに給油しましょう。何よりも、**危険を感じたら道の駅やコンビニで待機**することを心がけましょう。 〈防災士 荻野 勝也〉